

# 週間漁海況情報 2021年第44号

令和3年11月9日発行

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

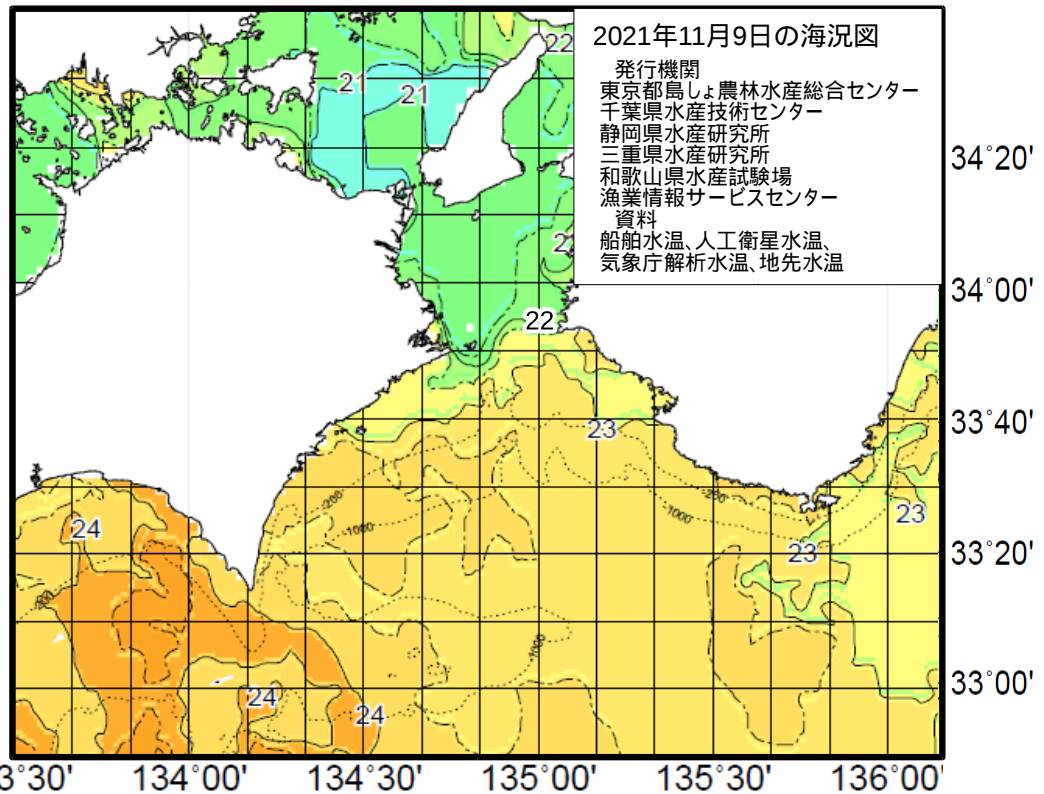
## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖43マイル、潮岬沖115マイルを流れ、室戸岬沖は「やや離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」となっている。

黒潮から紀伊水道外域への暖水波及はなく、海部沿岸上灘に21,22 台の内海水が緩やかに南下している。

黒潮の表面水温は25 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が20～21 台、紀伊水道が21 台、海部沿岸が21～23 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

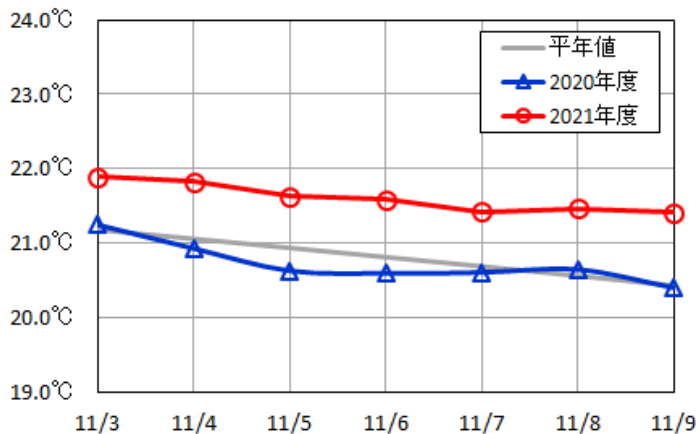
(いずれも正南方向)  
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~  
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~  
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

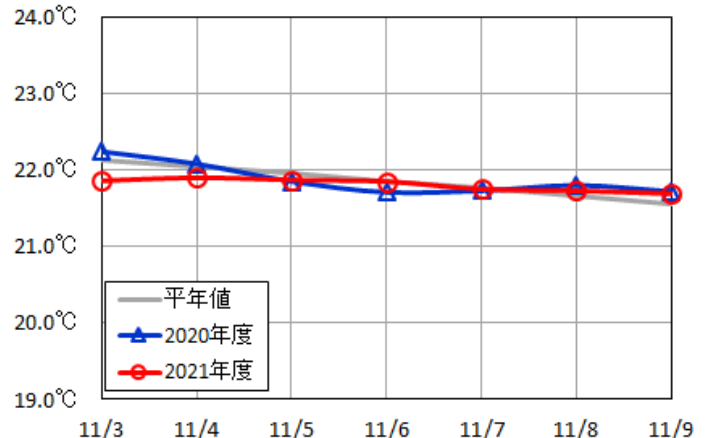
### 2. 地先水温(11月3日～11月9日)

鳴門地区の水温は21.9～21.4 で「やや高め」、日和佐地区は21.9～21.7 で「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は0～0.3 でほとんどない。

#### 鳴門地区



#### 日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値±0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5 以上1.5 未満  
高め/低め: 平年値±1.5 以上2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

### 3. 週間予報(11月10日～11月16日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」から「平年並み」、日和佐地区で「平年並み」に推移する見込み。

**漁況** (11月1日～11月7日)

**1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)**

船びき網では、シラスが増えて100ト水揚げされた。

延縄では、カマスサワラが大きく増えて0.3ト、シイラが大きく増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

建網では、カワハギが増えて大主体に0.8ト、タカノハダイが増えて0.5ト、イラが0.2ト、メジナが増えて0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが減って1.8ト、ブリが大きく増えて1.5ト、クロサバフグが大きく増えて0.7ト水揚げされた。

底びき網では、クロサバフグが大きく増えて1.2ト、ハモが大きく増えて中主体に1.1ト、えそ類が増えて1ト、クマエビが増えて0.9ト、かます類が増えて0.7ト、いとより類が中主体に0.6ト、モンゴウイカが増えて0.3ト、コウイカが増えて0.3ト水揚げされた。

**2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)**

釣りでは、カツオが特大主体に10.5ト、タチウオが大きく増えて0.4ト、キハダが0.4ト水揚げされた。

延縄では、キハダが増えて0.9ト、キダイが大きく増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	100	シラス	100,000	1,000		
	延縄	20	カマスサワラ	333	17		
		16	シイラ	241	15	大主体	
	建網	126	カワハギ	763	6	大主体	
		105	タカノハダイ	511	5		
		83	イラ	239	3		
		74	メジナ	214	3		
	小型定置網	23	カンパチ	1,827	79		
		21	ブリ	1,509	72		
		22	クロサバフグ	662	30		
	底びき網	39	クロサバフグ	1,172	30		
		46	ハモ	1,063	23	中主体	
		19	えそ類	1,037	55		
		44	クマエビ	907	21		
40		かます類	669	17			
41		いとより類	556	14	中主体		
45		モンゴウイカ	261	6			
42	コウイカ	255	6				
海部沿岸	釣り	6	カツオ	10,466	1,744	特大主体	
		7	タチウオ	418	60		
		5	キハダ	367	73		
	延縄	3	キハダ	910	303		
		12	キダイ	226	19	大主体	

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: